令和6年度学生献血推進協議会事業報告及び令和7年度献血推進事業計画

愛媛県　松山大学　学生献血推進協議会　唐木　萌百

愛媛県学生推進協議会について

◇活動目的◇

毎月行われる定例会や献血ルーム前での呼びかけ、大学内で行われる献血の準備や呼びかけ、学生の献血周知に向けた活動を通じ、愛媛県の献血者の増加を目指して活動しています。

◇メンバー◇

〇参加大学：愛媛大学・松山大学、聖カタリナ大学・愛媛県立医療技術大学
〇構成人数：約140名

◇活動内容◇

・定例会の開催
・献血会場（献血ルーム、大学）での呼び込み
・学内献血の準備及び学生への周知
・全国の献血推進を行う学生団体との交流

目次

・**3～11**　令和6年度学生献血推進協議会事業報告

3　令和6年度　学生献血推進協議会事業

4～6　学内献血アンケート　報告

7～9　献血推進に関する展示会　報告

10～11　若年層向け　配布チラシ　報告

・**12・13**　令和7年度学生献血推進協議会事業計画

・**14**　挨拶

令和6年度　学生献血推進協議会事業

4月～	学内献血アンケート実施開始
8月	愛顔の高校生献血会議 サマーキャンペーン
9月	献血推進に関する展示会 松山北高等学校講演会
11月～12月	若年層向けチラシの制作
12月	クリスマスキャンペーン

令和6年度　報告　(学内献血アンケート)

- **実施調査期間**　　4月～7月
- **実施場所**　　松山大学　愛媛大学
- **調査対象**　　献血に参加した大学生・教員
- **協力・協賛**　　愛媛県赤十字血液センター　様

反省点

・アンケート実施期間が短くなった・アンケートができなかった時が多数あった。
→呼びかけに参加する人員の不足により、調査員が参加できなかった際の替えがいなかった。

・調査員の都合や急遽の実施日判明により、呼びかけや調査員が参加できない日が多い。
→学内献血実施日の共有が満足ではなかった。　他大学との連携が取れていなかった。

改善及び令和7年度の計画

改善

・**学内献血実施日の共有の強化**　→　連絡ツールを使って各大学
他大学との連携(愛媛大学中心)　学内献血実施日の3か月前　1週間　前日予告

・**協力調査員の増員**　→　参加できる予定の人や参加できない人数の事前確認
数に合わせて、他大学の協力要請
(比較的距離の近い大学に限る)

令和7年度計画

・4月から実施
・調査期間や献血者数の状況などにより、アンケート内容の変更あり
・各イベントなどを通じて、調査範囲の拡大を目標

アンケート調査報告一例

献血にご協力いただいたきっかけ

・〇型の血液が足りないと知ったから

・やってみようと友達に言われたから

・特典が豪華だから

・自分の血液型を知りたいから

・助けを求めている人がいると知ったから

献血したことがない学生にメッセージ

・記念品が豪華だから本当に行った方がいい

・一度の協力で救われる命があります

・友達も巻き込みませんか

・献血をして損することはない！

・とても有意義な時間でした！

献血前と後のイメージの違い

・最初は不安だったけどわかりやすく説明してくださったので安心して献血できた

・めんどくさいと最初はおもっていたがリラックスして受けれるし景品も豪華だからまたやりたい

・ずっと痛みがあると思っていたが
最初だけで落ち着いて献血できた

令和6年度　報告　(献血推進に関する展示会)

- **準備期間**　4か月　**実施日**　9月29日(くすりと薬草展)
- **実施場所**　松山大学　薬学部
- **対象**　子供（小学生）世代～献血対象世代
- **協力・協賛**　愛媛県薬務衛生課　様
  愛媛県赤十字血液センター　様
  日本赤十字社愛媛県支部　様
  一般社団法人　愛媛県薬剤師会　様
  松山大学　薬学部　様

反省点及び改善　令和7年度の計画

反省点・及び改善点

・子供が実施することで楽しめる企画の実施　→クイズの実施
・展示物が倒れないようにするための安全面の強化
・準備などの役割分担が担えなかった。→各大学に役割を分けての協力要請
準備期間を長めに設定

令和7年度計画(予定)

・資料→前年度の資料＋新しく制作予定
・制作・準備期間→開催日程決まり次第　資料制作から準に取り掛かる

・体験型の企画を計画→子供が体験して学びながら楽しめる展示と体験の融合
・ＳＮＳ告知の実施

展示

青少年赤十字
赤十字ボランティア

青少年赤十字
赤十字ボランティア

校生献血会議
献血について
まとめ
献血とは？
BLOOD DONATION
献血につなげたい！その思いをポロシャツのデザインで表現しました
どけ！愛ある高校生の献血への思い
健康の3大要素

令和6年度　報告　(高校生対象　配布チラシ)

- **制作期間**　１か月
- **配布対象**　高校生や新成人等の若年層
- **協力・協賛**　愛媛県赤十字血液センター　様
  愛媛県薬務衛生課　様
  愛媛県立松山北高等学校(写真提供)　様

反省点

・奉仕団内での役割分担が担えず、個人負担が大きい制作になってしまった。
→制作期間を長めに設定　作成デザイン・資料の共有の実施

・資料集め・デザイン構成や展示会の準備の優先に時間を割いてしまったため制作期間が短く、慌てての政策になってしまった。
→奉仕団内各大学で分担して、部門に分けての制作

改善及び次年度の計画

改善

・奉仕団内のデザイン案・資料の共有

(以前)奉仕団内で掲示内容を共有して決めた後は、個人で作成していた。
→　個人ではなく大学ごとに資料の収集・デザイン構成を提案・共有

・製作期間の日程調整

(以前)制作前のイベントである展示会の準備に集中していたため、制作日程が短くなってしまっていた。→　段階ごとに分けての長期期間での制作

令和7年度計画(予定)

- **対象者へ直接配布できる機会を設ける。**
- 令和7年度の活動を掲示予定
- 製作許可・完成目標の期間が決定次第、制作開始予定

令和7年度学生献血推進協議会事業計画

- 令和7年8月　　サマーキャンペーン
- 令和7年12月　　クリスマスキャンペーン
　　→ＳＮＳ広告の強化

予定(開催未定)

・令和7年4月～　　学内献血アンケートの実施
・令和7年７月もしくは8月　　愛顔の高校生献血会議
・令和7年１０月　　ハロウィンキャンペーン
　　献血推進に関する展示会
・未定　　高校生等を対象とした配布チラシの作成・配布

ＳＮＳ広告例(令和6年度制作)

← **2024クリスマスキャンペーン**
インスタグラム掲示

2024サマーキャンペーン
インスタグラム掲示 →

制作者　松山大学　唐木

　昨年、愛媛県学生献血推進協議会は、さまざまな新しい事業を通して、より多くの若年層の献血者を推進していくにはどうしたらよいかなどを考え、実行していくことができました。

初めての、新しく大きな事業の実行であったことから、成功できること自体が困難なものでしたが、多くの地域の皆様や、企業の皆様・そして愛媛県薬務衛生課の皆様の暖かいご声援・お力添えがあったからこそ、私たち奉仕団の力もみなぎり、無事、成功することができました。今回の反省を通して、すべて満足な結果が得られたものではありませんでしたが、今年度に活かすための大きな力を得たことに間違いはありません。

　今年度の計画の変更や、やむを得ない中止も予想されますが、前年度より多くの若年層の方々や地域の皆様のご理解やご協力をいただけますよう、より大きな成功ができるように、学生一同全力で向き合ってまいります。